

<b>授業科目名</b>	子どもと環境(2100224)		
<b>時間割名</b>	子どもと環境(34110)		
<b>時間割担当</b>	岡野聡子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	水・4		

### 授業の目標・概要

乳幼児の発達を促す環境とは何かを理解するため、栽培・飼育活動の実施、自然物や身近な素材を用いた製作、乳幼児が環境を取り入れて遊ぶ活動を実際に行い、体験活動を通して学ぶ。また、乳幼児にとって身近な地域の施設などに訪れ、どのような体験ができるかグループで話し合う活動を行う。

### 学習の到達目標

乳幼児を取り巻く環境の諸側面（物的環境、人的環境、社会的環境、安全等）と、幼児の発達におけるそれらの重要性を理解するとともに、乳幼児の身近な環境との関わりにおける思考・科学的概念の発達（数量・図形、自然との関わり的事象）、乳幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりでの発達といった専門的事項における知識・技能を身に付ける。

### 授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

### 授業計画

- 第1回：幼児を取り巻く環境の現代的課題  
社会環境の変化を知り、現代の幼児を取り巻く環境における課題を考察する
  - 第2回：幼児期の発達段階と環境とのかかわり  
幼児期の発達段階を知り、幼児の発達にとっての環境の意義を学ぶ
  - 第3回：好奇心や探究心が芽生える環境づくり  
子どもの遊びの価値を知り、好奇心や探究心が育まれる過程を学ぶ
  - 第4回：ネイチャーゲームを体験しよう  
ネイチャーゲームの実践から、季節感を味わい、自然体験活動の面白さを知る
  - 第5回：身近な自然・生き物とのかかわり  
自然とのかかわり、生命とふれあう活動から得られる教育的意義について学ぶ
  - 第6回：園における栽培活動  
四季折々の植物を知り、幼児期における栽培活動の意義を理解する
  - 第7回：園における飼育活動  
飼育活動の事例を考察し、幼児期における飼育活動の意義を理解する
  - 第8回：身近な素材にふれる意義と素材の条件  
身近な素材にふれる意義や素材の条件、活動時の環境構成や教師の援助を理解する
  - 第9回：身近な素材を用いた製作活動  
発達段階に応じた子どもの製作活動の様子を映像から見て学ぶ
  - 第10回：身近な素材を用いた製作活動  
実際に身近な素材を用いて製作活動を行い、活動時の環境構成や援助を学ぶ
  - 第11回：幼児期における数量・図形とのかかわり  
日常生活の中で、幼児がどのように数量・図形への興味関心を抱くか理解する
  - 第12回：幼児期における標識・文字等とのかかわり  
日常生活の中で、幼児がどのように標識・文字等への興味関心を抱くか理解する
  - 第13回：数量・図形・標識・文字等への興味関心を育む環境づくり  
実際に園に出向き、数量・図形・標識・文字等への興味関心を育む環境構成について学ぶ
  - 第14回：幼児にとっての身近な地域の施設とは  
身近な地域の施設を訪問し、幼児がどのような体験ができるか考察する
  - 第15回：授業の総括  
これまで身に付けたことを振り返り、個々人の学びを発表する
- 定期試験

### 成績評価の基準

- 1.授業内の振り返りシートの提出（50%）
- 2.学期末試験（50%）

### 準備学習・復習及び授

- 1.予習は、事前にテキストを読んで用語や語句への理解を深め、要約をする。
- 2.復習は、授業後の提出課題を行う。

### 履修上のアドバイス及

乳幼児期は、将来の人格形成の基礎作りとなる大変重要な時期です。子どもの生活理解を深め、子どもの心身の発達を促す環境とは何かについて、学びを深めてほしいと思います。

## 教材・教科書

岡野聡子・筒井愛知編著（2013）『子どもの生活理解と環境づくり』ふくろう出版

## 参考書

- ・文部科学省（2017）『幼稚園教育要領』文部科学省
- ・文部科学省（2017）『幼稚園教育要領解説』文部科学省
- ・厚生労働省（2017）『保育所保育指針』厚生労働省
- ・厚生労働省（2017）『保育所保育指針解説書』厚生労働省
- ・岡野聡子著（2013）『子どもと環境～身近な環境とのかかわりを深めるために～』ERPブックレット